

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	家電量販店（店長）	単価の動き	・地上デジタル関連商品が好調で、テレビに関しては薄型大画面が好調である。また、季節商品のエアコンが動き出している。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・新商品のハードディスク内蔵セットトップボックスの予約状況が高い推移で、単価上昇につながっている。全体的に販売量も多く、先々月から苦戦していたケーブルインターネットの純増数も上がってきている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・前月同様、冷蔵庫、ドラム式洗濯機が売れている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・メーカーのタイアップもあって徐々に地上デジタル家電の動きが出てきている。
		スーパー（統括）	単価の動き	・客単価が下げ止まり、前年をクリアするようになってきている。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・必要な物しか買わないことに特別変わりはないが、客の購買意欲に若干余裕が出てきたようで、キャンペーン等で少し欲しいものがあれば、プラスアルファで買えるようになってきている。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・前年比で客単価は5%低下したものの、購買客数が多かったため、販売額は30%伸びている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中は天候も良く、祭り等、当地のイベントは近年になく良い。例年ゴールデンウィーク後は客足が半減するが、今年はそのまま持続している。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・先月の来客数は数年ぶりに前年を上回った。今月の数字も順調に伸びている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・今年に入り徐々に来客数が伸びており、5月は前年比130%と明らかに回復傾向である。一方、客単価は下がっており、原油価格の影響で油、ビニール、紙製品等、消耗品が値上げとなり出費がかさむなか、価格競争で大幅な値上げは出来ず、利幅は薄くなっている。
		旅行代理店（副支店長）	来客数の動き	・3か月前に比べると明らかに来客数が多くなっている。すべてが成約につながるわけではないが、どこかへ行きたいという気持ちはあるようである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・5月はゴールデンウィークが終わってから花祭りなどがあり、観光客の動きもかなりあった。また、各企業の営業マンの客を乗せる回数が非常に多くなっており、売上は前月比で5%くらい良くなっている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・イベントを含め、前月より来客数が2～3%程度増加している。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・曜日の差はあるものの、安定した予約が入ってきている。冬の乾燥と冷害による芝の張り替えにより、市場で芝の不足が出ている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	販売量の動き	・開店して1周年がたち、前年の数字と比較できるようになった。現在のところ来客数、単価共に伸びている。ゴールデンウィークを含めて今月は順調である。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・住宅ローン等の金利上昇に伴い、客が動き出したようである。ただし、潜在的な客なので条件面で厳しく、ニーズに合うものは良いが、それ以外はそれほど影響はない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・金利の先高感を受け、分譲住宅の販売量が増加してきている。	
	変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・毎日の買物に来店する客の数は変わらないが、購買点数が少ない。忙しさはあるが、売上が上がらない。
		商店街（代表者）	単価の動き	・今月に入り、やや単価の高い品が売れ始めているが、数量は少ない。
		一般小売店〔青果〕（店長）	来客数の動き	・来客数がかなり落ちている。特に、昔のように夕方の退勤時の忙しい時間帯がなくなっている。
百貨店（総務担当）		単価の動き	・目玉商品の動きが非常に敏感になっている。各アイテムとも1円でも安いほうに走りがちである。	

	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・都内の百貨店等では高額品などの動きが良いという話を聞くが、地方百貨店にはまだその傾向は現れていない。依然として3～4か月前の前年割れの数字が続いている。
	スーパー（経営者）	それ以外	・売上の伸びは3か月前と同じ状況である。前年比でみても客単価、来客数、買上点数、平均単価はほぼ同じで、景気の回復傾向は全く感じられていない。
	スーパー（経営者）	販売量の動き	・原油の値上がりに伴い、販売単価が少しずつ上がっているためか、売上が前年比で100%前後と回復してきている。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・年間で最も野菜の価格が安定する季節であるが、日照不足による生育の遅れから、果菜類、葉物野菜が高値傾向で1/2、1/4カット物へシフトする等、若干の消費抑制がみられる。クールビズ商品は、素材、デザインとも新製品が出そろい、好調な動きをみせている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・毎年恒例のセールを行ったが、天候の不順等で販売量は伸びなかった。商店街の通行量も依然として少ない。
	衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・最近、日曜、祭日の人の動きが悪い。特に、5月の連休は町中に人が少なかったようである。そのようなことから、このところ徐々に日曜日を休む店が増えてきている。あまり良い現象ではない。
	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・5月は連休もあるので、3か月前と比べると売上は下がっているが、例年と比べると特に悪いというほどではなく、おおむね同じである。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・ゴールデンウィークは曜日の配列が良く、まずまずの集客はあったが、連休明けのランチタイムが低調であったため、前年並みの推移となっている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・連休明けから少し落ち込んでいる。宴会の需要は前年並みだが、フリーの客が減少しており、客単価は若干上がっているものの、全体としてはややマイナスである。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・連休は例年より客が多く、宿泊も多かったが、その後ぱったり客足が止まってしまっている。景気の良いのはごく一部で、市内の大手企業は決して良くない。
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・宿泊関係では、単価が安い部屋から埋まってくる状況にある。懇親会の予算は5千円前後で、6～7千円というのはほとんどない。レストランは3千円前後が主流になっている。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・昼間のタクシー需要は順調に推移しているが、ナイトスポットが活気に欠け、夜間の伸び悩みが続いている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・来場者数の購買単価に変化がみられない。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・今年の連休は長かったためか、外に出かける人が多かったようである。レジャーにお金を使ってしまい、美容室には来ないので、ゴールデンウィークは低迷したが、売上の良い日もあったので、全体としてはとんとんである。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・景気は上向きと聞くが、建設関連業種には縁のない話である。特に当県の状況は悪いようで、個人住宅の建設も少ない。消費税の値上げや金利上昇など、条件としては駆け込みがあっても良いところだが、相変わらず動きは低調である。
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・天候不順が続き、石油製品の高騰等もあり、全体的な雰囲気が良い。昨年はクールビズでかなりの売上があったが、今年は2年目のジンクスということでなかなか厳しい状況である。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年比で来客数が92%、売上が97%である。バイパスができて交通量が3割減少し、なかなか来客数が戻ってこない。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークの影響もあるのか、連休前は整備に訪れる客が多く、そこそこの販売があったが、連休後の来客数は非常に少なくなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売になり4か月経過したが、発売当初に比べ販売台数が大きく減少している。新型車効果は短期化している。

		その他専門店 〔携帯電話〕 (営業担当)	来客数の動き	・特に大きなキャンペーンの予定もなく、新商品の発売開始を目前にしていることもあってか販売の動きは鈍い。ある機種を0円にしたところ、法人中心に50台ほどまとまった注文が入っている。やはり携帯電話は0円なのか。	
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・予約の取り方、営業戦略のミスから、ゴールデンウィーク中からの手配が後手後手となり、後半は多少盛り返したものの、例年に比べかなりの売上減となっている。	
		旅行代理店(経営者)	それ以外	・大都会は景気が非常に良く、決算状況の良い会社がたくさんあるようだが、当地域はまだ大変厳しい状況にある。良いといわれるような業種の企業、産業が見当たらない。3か月前と比べてもまだ厳しい状況である。	
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・特に深夜の利用客が落ち込んでいる。前年同月比で3%の減少である。	
	悪くなっている	衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・来客数、販売品数共に前年比60%を切っている。今年1~5月までの合計でも5.5%の減、来客数、販売数では共に25%の減少で深刻である。天候不順のせいにはできるだけ、甘くはない。	
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	食品品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・各メーカー共、今回の増税分は被ったものの、比較的順調に荷が動いている。	
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・年度の上期で多くの広告宣伝費を使う傾向が増えてきている。予算投入により業績を上げ、下期予算を追加計上する狙いとのことである。宣伝ツールの受注は前年比120%である。	
		新聞販売店〔広告〕(総務担当)	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出荷量は前年比109.7%と好調に推移している。中心部より郊外の出稿量が大きく伸びているのが特徴である。中旬に大型家具店がオープンし、近隣の量販店を始め、売上が大きく伸びていると聞いている。	
		その他サービス業〔情報サービス〕(経営者)	取引先の様子	・客の収益改善が進み、設備投資、情報化投資が前向きになり、引き合い、見積依頼等が多くなってきている。	
	変わらない		窯業・土石製品製造業(経営者)	取引先の様子	・例年の特注が今年も決まり、例年並みの数字で動き出しているが、特注分を除いた他の受注は相変わらず低調である。
			一般機械器具製造業(生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・自動車関連及び建設機械関連の主要な取引先が、引き続き増産傾向にある。
			電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先2社が相変わらず在庫調整や生産量を減らしており、回復基調にはない。
			電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・部品加工は一層忙しさを増しているが、他の製造は相変わらず弱い。業種間格差がはっきりしている。
			その他製造業〔宝石・貴金属〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・卸、小売対象の大きな宝飾の展示会があったが、来場者は多いものの、売上は伸び悩んでいる。また、金、プラチナの地金が高騰しており、思い切った製品開発がしにくい状況である。前年比で売上の落ち込みはないが、利益率の低下から厳しい見通しをせざるを得ない。
		金融業(経営企画担当)	取引先の様子	・5月の連休は天候や曜日の並びに恵まれ、観光地の人出は順調であったが、その後は天候不順が続き、そのまま梅雨入りしそうな様子となり、若干影響が出ている。	
		不動産業(経営者)	取引先の様子	・契約金額は同じでも、要求、チェックなどは増えてきている。	
		その他サービス業〔放送〕(営業担当)	受注量や販売量の動き	・官公庁からのタイムコマーシャルが3%程度減少しているが、商業、サービス業、不動産業からのスポットコマーシャルの件数は増えてきている。しかしながら、単価、期間共に小口化してきている。	
	やや悪くなっている	輸送用機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・売上が横ばいのなかで、材料価格の高騰が続き、前年比で60%も上がってきている。原油高に伴って燃料関係も相当高くなっており、利益が非常に圧迫されてきている。	

		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・本年は天候不順が続き、特に夏向き家電商品、レジャー商品等の動向が鈍く、輸送量が多少落ち込んでいる。また、燃料高によるコストの増減等、負担が多くなっている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・好調企業、不調企業どちらもあるが、良くては順調というほどではなく、悪い方は業績が落ちている。個人消費は依然として活発ではない。金回りの良くなっている企業は限られた業種の、そのまた一部である。
悪くなっている		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は仕事に追われ、休日出勤と残業が当たり前であったが、今月は仕事がなく、工場の整備、機械のメンテナンスなどを行って過ごしている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が予想を大きく下回り、ピーク時の半分以下に落ちてしまい、社員、パートを含め、手空きの状態である。同業者でも、仕事がないので15時終業にしているというところが何社かある。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事削減の影響で、今期7か月を経過したなかでの受注高は前年比72%であり、現在のみでは経営が厳しい。新規分野の開拓に人員を配置し、活動を始めている。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・4月末で退去したファーストフードテナントの分、賃貸収入が落ち込んでいる。面積が大きかったので減少額も大きい。また、下見の件数もめっきり減っている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・各業種とも求人広告が非常に出ているようだが、なかなか採用に至るまでの人の動きはないと他社からも聞いている。住宅関連の伸びはあまり変わらないが、電気、電子、自動車関連、その他の業種共に全般的にやや良い。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人の動きが活発で、採用を希望する企業が増えている。
変わらない		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・有効求人倍率は多少上昇している。県内の求人数は4月常用が10%増、パートは若干下がっている。製造業の求人が増えているが、運輸業などは大分減少している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・依然として求人減少の歯止めが掛からない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人倍率が6か月連続で1倍台となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は4か月連続前年同月比で増加となっているが、内容的には派遣求人が求人数全体の20%を占めており、依然として直接雇用を含む正社員の求人は厳しい状況で推移している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・今は景気の良い状況でのそこそこの高値安定といった印象がある。これ以上、好転する材料がないような状況が続く。
	やや悪くなっている	-	-	-
	悪くなっている	-	-	-